

グラスルーツからの日米関係強化

地域における日本理解

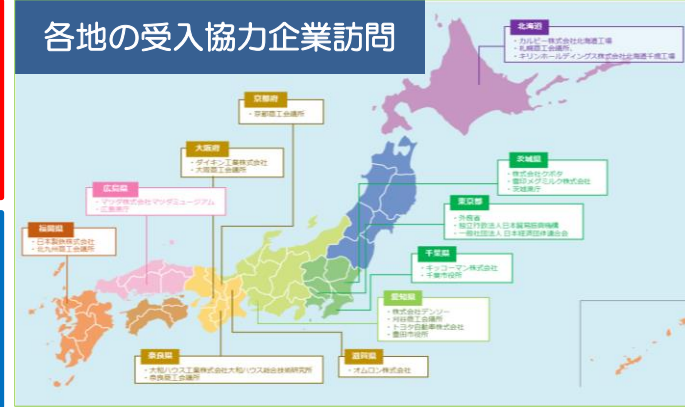
GEN-J (Grassroots Exchange Network-Japan)

地域リーダーの招へい

- ・州・郡・市議会議員
- ・市長、行政幹部職員
- ・商工会議所幹部 等：120名

招へいプログラムを通じ、日本の文化やビジネス習慣、行政の仕組みを深く理解できました。日本での滞在を通じて得た経験を、本国でのビジネスにも活かしたいと考えています。地元ミネソタと日本との経済的な結びつきだけでなく、友好関係もさらに深めていきたいと強く思います。
(ミネソタ州地方自治体幹部)

各地の受入協力企業訪問



学生・教師の招へい

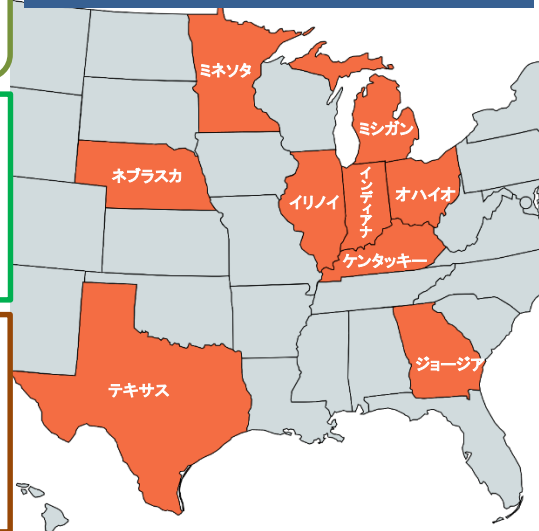
- ・日本語履修学生：130名
- ・日本語教師・引率：27名

高校で日本語と出会ってからは、日本語学習と日本文化に夢中になりました。GEN-Jを通じて日本に行くことが決まった時は、「ついに私が勉強してきた日本語を実際に使うことができるんだ!」と興奮せずにはいられませんでした。そして、この旅行は私の人生にとって最も素晴らしい経験になりました。(ジョージア州日本語履修高校生)

交流人材の派遣

- ・日米交流ファシリテーター：7名
- ・日本語教育サポーター：7名

中西部・南部諸州で活動展開



派遣前は、文化交流と日本企業のサポートという一見繋がっていないように見える二つの活動目的をどれだけ達成することが出来るか不安でしたが、活動していく中で、この二つは繋がっているのだと気づくことが出来ました。文化交流のみ、もしくは日本企業サポートのみでは得られなかった沢山の繋がりを、GEN-Jプログラムを通じて残すことが出来たと感じています。

日米交流ファシリテーター

あっという間の2年間でした。オンライン授業への移行や活動を全力でサポートして下さった関係者、制限をむしろ楽しんでくれた参加者の皆様には感謝しかありません。少しでもケンタッキーの人々に楽しさと学び、日本語を届けることができたのであれば、これ以上の喜びはありません。今後も、どのような形であれ、人と人との交流、つながりを結ぶ仕事を続けていきたいです。

日本語教育サポーター

GEN-Jプログラムに参加出来たことを心より感謝しています。GEN-Jプログラムは文化やビジネス、教育等、私たちのミッションに完全に合致するものでした。そして、日米交流ファシリテーターはインディアナ日米協会のスタッフ、そして地域コミュニティの方々にとって大切なメンバーの一員となりました。改めてインディアナと日本へ貢献して下さったGEN-Jプログラムと日米交流ファシリテーターに感謝致します。
インディアナ日米協会

日米交流ファシリテーターを迎え入れられたことは本当に幸運なことで、私たちの組織や地域社会に本当に素晴らしい成果をもたらしてくれました。GEN-Jはシカゴ日系人定住者会と、日本語教育や日本クラブに力を入れている地元小学校や高校との繋がりの強化、他のGEN-J派遣先機関である各地域の日米協会等との関係構築にも大きく貢献してくれました。
シカゴ日系人定住者会

GEN-Jは、日本語クラスの拡大や日本文化理解の促進、地域経済の活性化において私たちのニーズを遥かに超える成果をもたらしてくれたうえ、個人レベルでの日米交流にも大きく貢献してくれました。コロナ禍の厳しい状況の中、GEN-Jなくして私たちのこれまでの活動基盤の強化はなかったと思います。GEN-Jは私たちにとって他にかえがたい活動であり、今後もこのようなプロジェクトの一員になれることを期待しています。
ジョージア日米協会

グラスルーツからの日米関係強化

日本庭園活性化・文化交流への活用

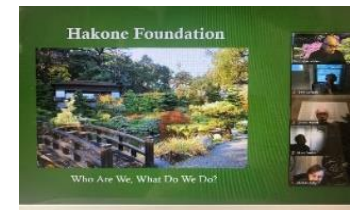
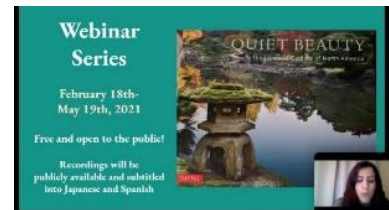
日本庭園における日本文化紹介事業

グレンデール市ブランド公園内「日本友好庭園」の茶室を日本文化発信拠点としてリニューアルのうえ活用し、2018年4月に開催された第1回グレンデール桜祭りでは裏千家師範による茶会を開催。市民2,000人を集め、多くの家族連れが日本文化を楽しんだ。2019年3月の第2回桜祭りには、阿波踊りグループ「寶船」を日本から派遣。

日本庭園ウェビナー・シリーズ 開催

米国及び米州各地に所在する日本庭園に関する連続オンライン・セミナー。米国をはじめとする海外の日本庭園への認知度と関心を高め、庭園を活性化させるとともに、文化交流の拠点としての可能性について考察を深めることを目指す。コロナ禍中、在米日本庭園関係者グループ訪日研修実施の目途が立たないことから、オンライン事業を代替企画。米国等各地の27の日本庭園を取り上げ、毎回違う講師が登壇し、在外日本庭園の100年以上にわたる歴史、哲学、文化から庭園管理運営ノウハウに至るまで様々な切り口でわかりやすく解説。質疑応答セッションも活発に行われた。

- ✓ 国際交流基金、北米日本庭園協会(NAJGA) 共催
- ✓ 2021年2月19日～5月20日 毎週金曜日開催 全14回
各回 90～120分
- ✓ 英語（日本語・西語字幕付き）
- ✓ 視聴者数のべ2,298人 登壇者のべ38人 Q&A発言者のべ50人以上
- ✓ アンケート結果：「ウェビナー・シリーズに満足した」97%以上 「日本への関心が高まった」91%以上



日本の外にある日本庭園は、多くの人々や文化を結びつけることができる大切なツールだと感じた。

これらの庭園は、日本文化の過去と現在にリンクしている点で極めて重要。教育ツールとしても大切。北米における日本人の歴史を認識することにも繋がる。

北米の日本庭園にはそれぞれ独自のストーリーがあり、各庭園の特徴や精神の形成には、土地柄や地形、庭園を支える造園関係者達にも深く影響されるものだと感じた。

日本庭園学会全国大会（2021.6）にて本ウェビナーに係る報告・評価

・・・まさに、北米の日本庭園の歴史と現況、課題、そして将来展望が実感できた。これまで、ごく限られた専門家の間でのみ認識されていた、北米の日本庭園の歴史と現況、その全体像の大まかな把握を、参加者が短期間に得ることができたメリットは大きい。・・・

（鈴木誠 東京農大グリーンアカデミー校長・東京農大名誉教授） 2